事實である。 一

直前にみることの出來る

は昨年四百八十圓であつた

ものが四百三十圓に連接は

一一一一 後表によると平局の加入費 日午前十一

難い關係が生ずることも

然るに平町

小名濱町

九十圓であつたものが

つて今より以上の密接な|増加を計る感となつた學は|

松ケ

隨七十圓を滅じ極力加入者の

ららつ

濱町の發展を助長してや|は遞信省でも動からず頭を

ればならないであ

惱まして居たがそれに就き

遞信省では善後策を種々協

故に平町としても出來る

だけの援助を與へて小名

地がないであらう。

方化することは論爭の餘

接にいろくの利益を地

交錯して

あることは

間 が、然し地方的の關係

商港の實現に伴ふ結果と

議した結果本年度より

加入費 を五十圓乃至

興隆することになり、

して必然的に生産事業が

はそれ自體で何んの關係

もないやうに警閉に附し

命であるこど論をまたな する點に於て小名濱の生

平局の電話加入費は

である。直接に利害を有

方としての喜ぶべき進路 生産工業の發達は石城地 小名濱商港の實現、 社 說 地方化しなければならぬ

裂からである。要は平町 事業が資本閥化するやう 方有力者の結束が足り になることは要するに地 いことゝ政黨的偏見の分

各種

目がけて飛込み自殺を窓げ らであると たが原因は精神病の結果か

である。 來に向つて對岸の火災視者の表彰授與式は九日午前 的に助長發達せしむべま せず援助を惜し 村は奮つて小名濱町の將 を中心とする石城地方町 まず積極 平署管内に於ける衛生功勞國婦人會員、各中等小學校 ●衞生功勞表彰

生徒の順序で拜禮あつて閉

が功勞者左の如し

村助場可

連接も八十圓に減額。平町信用組合總代會は去る場合でも勢からず頃とは、大沼郡高田町生れ當時石城で協議したが其の結果名稱財界不况の結果から著しく大沼郡高田町生れ當時石城で協議したが其の結果名稱、大田年後一時から同組合内に開催定数一部を變更に就不明度に対して、「大田本学」と、「大田本学」、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」」と、「大田本学」」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」、「大田本学」と、「大田本学」と、「大田本学」、「大田本学」と、「大田本学」、「大田本学、「大田本学」、「大田本田和本学、「大田本学、「大田本学」、「大田本

笑ひ出さんこする

連絡が必要しされ、離れ|既報したが其の後遞信局の|蟻邸聯台忠魂祭は愈々明十|長の挨拶に次いで四家在郷 岡公園に於ける石|が定刻伏見石城町村長支會 石城聯合の忠魂祭執行 明十日午前一時から 矢庭に田甫へ荷馬車を轉覆 (二六)が荷馬車をひいて來 5 るのに出會ひ荷馬車を止め を通行中小名源町山田廣元 時頃泥酔して内郷村綴地内 之助(四六)は九日午前十一 好關村川原田自稱鎌田馬鹿 平署に檢學

櫻の松ケ岡に於

武德曾旨、赤十字社員、 平分會長等祭文奉讀をなし 終のて遺族廢兵在郷軍人、 本縣知事。二十九聯隊長、 福島聯隊區司令官。

於て折柄進行して來た炭車 **受同村磐城炭礦專用級路**

宮留吉二は七日午後三時辰

Ų,

で第二師團長祭文

十時からや署樓上で行った一番それより直ちに銃、剣、 の櫻も例年より早く綻びん る筈であるが本年は松ヶ岡 大変店り牙折吉方に登婁司弓、柔、等の武道大會に移 午後十時頃湯本町字天王崎 もあるので非常な雑踏を見 でして居り近郷よりの人出

るものと豫想されてゐる 暴行を働いた 録田馬鹿之助 手に 遊興中

トメルの際を

おこり聞した

平當林署

嚴しいお達し 天幕生活者に

の母親が 生んだ仲であったがトメル 縁關係を結び一人の子まで メルと外雄は郷里に於て内 生命は取り止めた原因はト て縊死を企てたのを家人が 發見應急手當を加へたので かがひ電燈線を頸に卷い を荒すもの非常に多くなつ ンプ生活する者續出し植林 地に近い國有林野で最近キ たので平營林署では昨秋以 石城郡山間方部或は海ヒン

せ更に暴行を働かんとし|を酌フに賣り飛ばし其の後 の間をさきいやがるトメル つて居たが何時になつたら きながらトメルのもとに通 でゐるのを久雄が知りはる に來り入山炭礦で坑夫を働 ばる後を迫ひかけて湯本町 トメルが湯本町に於て稼い 久雄を きらつて二人 許可なくして林野内に天幕 可することに定めたが若し さんどするものに對しては 林野において天幕生活をな を期するため今年から管内 一來嚴重取締つて來たが徹底 重處罰方針であると を張ったものに對しては嚴 屆書を提出せしめ正式に許

> が背後についてゐる女のおとり 聞くさころによるさ、三人の男

たので平署に檢察され

時より執行する|聯合分會長祭文奉讀をな

悲慘であるために、資本 輸入によつて事業が發達

てゐる

専用軌道で

飛込み自製

内郷の精神病者

も果して新加入者が激増す

れだけ鳴物入りで宣傳して

額されたが然し遞信局がそ

八十圓にそれか

るか否かは頗る疑問とさ

小名語の經濟狀態が可成 きものではあるまいか。 としての將來は悲しむべ てゐるならば實に大平町

碑魂忠るけ於に岡ケ松

製割調 學 登の 訪問が

間違いら れては一大事……!!

下旬は丁度町議の改選期 割調査は來る五日から行 筈であつたが五月 おける特別税戸数 役場が調査期日繰上げ ては非常に迷惑するとい 戸別訪問とはき違へられ 吏員の戸別訪問が選擧の に相當してゐるので萬一

行き詰つタ近代交明の現はれタ

ツミもみるここができやう。 欠カンの結果、そして所産の一 きである。

れる

やうなやつである。 ふみたほしの常習者であるさ。 であるそうな、到るミころ借金

のであるミしても教養なき田舎 に先づその暗いツミを悸れむべ 途は暗にものいふ花であつたさ 娘さして生きて行くのに安易な したら社會は彼女を責むる以前 美しい女は毒をふくんだテフの しめたツミは當人の負ふべきも 然しこの女をしてこゝにいたら

たれさば飛賣

追う の後 浮世に 悲觀 して一人心中 まいならず は死たが

變更した

旬までに終了することと 二日から調査を開始し下 ふので協議の結果來る十

山町植野トメル(二三)を相 家抱酌婦山形縣米澤上裏市 | 々夫永井八雄 二九)は八日 當時湯本町人山炭礦第四坑 飲食店山野新吉方に登樓同 山形縣南置賜部長井村生れ …◇山形生れの入山坑夫が◇… 應じぬため一人自殺を企て 明した のので悲観したあまり久雄 んと前記の始末に及んだも がトメルに情死を迫つたが のである……と云ふ事が判 夫婦に なれるか判ら

> 小名濱沖合に The state of the s 捕へて見れば

つた事なざる云ふ事は近 獣の一群が出没してゐる 黑山を築いてゐる 來稀なため毎日見物人で 飼育中だがラッコの生捕 **備つた結果ラツコと判明** 見面白宇分に追ひつめ生 のを出漁中の漁夫連が發 したので目下漁業組合に 三日程前小名濱沖合に怪 ラツコと判明

肇 洗 초 前

ある。 の道行きも上品な柄ににほふて を 着こなした 派手な 衣類、 紫地 色の白い太り肉の體にぴつたり 女がゐる。 平署へ入いるさ、島田まげ美し くゑり足のあでやかな十八九の

♥豊富に而も廉價に實用品を揃へて・・・

●●●御來店をお待して居ります

各會社 御用

運動具部 支店

電七〇二番

4

4

不興を被れるを幸ひ、

… 來週有聲座上映…

銀糸で歡樂に耽り、主君の散つた。・(完)

ネ 製作

監督

波邊新太郎

誠太郎 主演…市川百々之助 芳美三嵐 璃運次

喜多見順 別府花子 寶來數之助 尾崎靜子 尾上松二郎 草香子 狙ふ八郎衛門及び多門の息 だつた。その間に彼を仇と を重ねて次第に荒み行くの の錆とし、追はれる樣に放 藩士及び多聞、林之助を及 郷を去つて旅から旅へ惡夢 併し沖島の好計にやむなく しい故郷の土を踏んだ。 想流を會得して再びなづか 彼を裏切つた香織は

寺川正子

市川幅十郎 荒波新八郎 高波淳之助

嵐 寬十郎

千葉清之助

しく麗十郎の及に倒れた

良之助

製作卸販賣一般木地挽物

偶々麗十郎は林之助との御 四年苦心の後途ひに無念無 我が郷土に最もふさはしいお土産物として必 ずお氣に召す器具類と玩具類の製作を始めま した。……是非お引立を希います……

開

菓子器、花瓶臺、 各種丸盆、木皿、 其他萬挽物類 器具部

玩具一式 形、自轉車、 自動車、汽車、 教育

FIT

町七丁目北側

無効返金四圓

◎ 某店丿如ク無責任薬剂節へ 以照烈特殊薬ヲオ用ヒナサイ () 以店」如ク無責任薬ハ賣ラヌ! () 以間の対象薬ヲオ用ヒナサイ () 以間の対象薬ヲオ用ヒナサイ () は、 (

等五圓貯蓄債券 以下略 四月卅日迄用紙葉書 標語奏集

|即衞門の息林之助を戀する|銀糸は愛見を源吉夫婦に托

こでを知り、麗十郎が藝妓し、自刄して果敢なき露と

| 家老沖島多聞はその娘香織| た身を途ひに縛される折で

運命によって悪に流れ歩い

特二平町田町

が許婿麗十郎を嫌ひ、星八あつた。

罪業を殘して滅び行く人の|その時は悲しくも不可抗の

子、その名は月魂麗十郎

地上をむしばんで人の世に一後に麗十郎と選ゴラしたが

岡つ引源吉の親切に救はれ

如く地上に生を享けて、善十郎を慕ひ求めて漂泊ひ…

大柱を蝕んで生きる白蟻の|病に盲目となつた銀糸は膿 高殿樓上に生を享け、その一麗十郎の魂を宿し、産後の

き事多かれる祈りつゝ……

コ レオソー 〉塗料大廉賣△ ルタ ト油 ル 一圓七十錢 圓十五錢

周陵 御用命は

◎御用命は…一直線に大塚へ!

學生學是同例大特曾

是非

合せ下ろい

振潜東京一九七五五番電話 | 營業部専用一〇番

合名會

上野車坂四三 R

振替東京六八三一二番 話 下谷五七一二番

如何ナル重患デモ直チニ癒ル三丁目

図影

ノ大谷へ御出下サイ院長博士敬白 人名特雷威克

話 九

番

川崎なる.....

フチオの

在庫品の整理を機に (附屬共一式)

今年も自慢の御道具類

回是非一度御越しを願ひます

陳列致しました

平町三丁目

JII

藤

提

店

@ 2人形大賣出

何卒御用命下さ 自機時間 します

福島縣平町

雛人形と

御道具のデバ

平町四丁目

スポノヤ長灯店

特玉 製秀 ヒナ人形質用し

●種類の多いのご 品の良いのが自慢

二 丁 目

明日景人 とん店

V 回是非一度お越し下さい回種々取揃へてあります 御首句の御弓物には 何卒弊店の引物用漆器を

平町一丁目

有人并属物特点 番組の四語電

電話 話八四七番 舘

E STATE OF

196

•